

注意事項

総 合

口選手として参加されるお子様に、このしおりの内容(ルール・スケジュール)を十分理解していただくとともに、ご家族の方にもご理解いただき、ご家族全員でアクアスロンを楽しんでいただきたいと思います。お子様にはむずかしい漢字や言い回しがありますので、おそれいりますが、保護者の方が十分に説明してあげてください。

口大会には、障害のある選手も参加し、一般の部の競技クラスの中で一緒に競技します。選手及び伴走の方々はトレーニングを積みまれ競技運営とも打合せを行っており、審判員・スタッフは最善の注意を払っていますが、参加者の皆様も、競技中の配慮をお願いします。

大会保険

口参加全選手に傷害保険をかけていますが、保険の対象となるのは競技中の傷害事故(いわゆるケガ)で、急性心不全(心臓麻痺)等、疾患は対象となりません。下記内容を確認のうえ、補償が不十分と思われる方は各自において保険加入ください。

口保険金額

・死亡・後遺障害保険金額:500万円

・入院1日5000円、通院1日2500円

熱中症危険補償特約付き(補償は基本契約と同額)

口大会会場へは最寄りの公共交通機関をご利用ください。

選手受付及びトランジションは、JR朝霧駅から徒歩3分、山陽電車大蔵谷駅から徒歩13分で便利です。

口駐車場は「競技コース図」に記載された場所(大蔵海岸公園東駐車場・西駐車場等)をご利用ください。ただし、当日は海水浴場の開設期間中でビーチバレーの開催日のため大変混み合い、駐車場が確保できず、選手受付に間に合わない恐れがあります。

口競技前後の更衣は、大蔵海岸海水浴場のシャワー室・ロッカールームをご使用ください。

※トランジションに更衣テントは有りません。

口貴重品、手荷物はロッカー(1回300円)をご使用ください。トランジション内には競技中に必要な物以外は持込めません。また、その周辺にも手荷物などを置かないください。

口 競技後のシャワーは、大蔵海岸海水浴場のシャワー(1分100円)をご利用ください。

口記録はスイムフィニッシュと総合フィニッシュの2ヶ所で計測します。

口計測は、足首に巻きつける計測用アンクルバンドを使用します。

選手受付

口受付にてお渡しするものは下記の通りです

参加記念品:フィニッシャータオル(フィニッシュゲートでお渡しします)、トランジション袋1枚、レースナンバーカード1枚、安全ピン4本、スイムキャップ、計測用アンクルバンド(スイム招集時に配付します)

口受付で選手登録を行い、ポディナンバーは各自で左腕に縦書きしてください。

口 レースナンバーカードの枚数は、個人は一人で枚、リレーは1チームで1枚です。

口計測用アンクルバンドは防水タイプで、スイムスタートする砂浜のスイム招集地点で配付します。計測用アンクルバンドにはレースナンバーを表示していますので、他人のものと間違えないようにしてください。

口レースナンバーカードはランウェアの前(胸)に付けてください。レースナンバーカードは、四隅を安全ピンでしっかり止めて競技中に外れないようにしてください。

口レースナンバーベルトの使用も認めますが、ラン競技中ならびにフィニッシュ時は、必ずレースナンバーカードが前に来るように直してください。

口リレーの場合、トランジションエリアにあるリレーゾーンで、計測用アンクルバンドをラン走者に引き継いでください。ラン選手は、リレーゾーンでは**はだし**で待機し、アンクルバンドの引き継ぎを受けてからトランジションエリアの各チームのスペースでランシューズを履いてください。スイムが終わった選手は、各チームのスペースにある用具入れの「カゴ」の中に用具を収納してください。

口コースはクラスによって周回数・折返し地点が異なります。ご自分の参加されるクラスのコースをしっかりと覚えておいてください。競技規則でもコースを熟知する事が求められています。

口競技のスタートは、スタンディングスタートとなります。ご自分のスタート場所、時間を確認しておいてください。

スタート時間の15分前にはスイムの用意をしてスイム会場の招集地点に集合し、入水チェックを受けて計測用アンクルバンドを受け取ってください。集合時間(スタート時間ではありません)に遅れると競技に参加できません。

口スイム終了後に使用する眼鏡は、スイム会場出口のテーブルに置いてください。

口スイムスタート前の更衣は、大会本部の西側のロッカールームで行ってください。

スイム会場には、ウェットスーツ以外のもの(タオルやランで使うウェア、シューズ)を持ち込むことはできません。

口トランジションエリアには、レースナンバーを表示した用具入れの「カゴ」が設置されます。各自のレースナンバーの「カゴ」の位置が各選手のスペースになります。これから競技に使用する全ての用具は、この各自のスペース内に置かなければなりません。ランで使うウェア・キャップ・サングラス等は出来るだけこの「カゴ」の中に入れてください。ランシューズ(1足)は、「カゴ」の前の床の上に置くことができます。

競技が終了して使い終わった用具は、全てこの「カゴ」の中に収納しなければなりません。スイム競技後のウェットスーツやゴーグル、スイムキャップは全て「カゴ」の中に入れてください。

口フィニッシュ後に計測用アンクルバンドをスタッフが回収します。必ず返却してください。

口競技中にリタイア(スイムまたはランを自ら途中で止めた場合、スイムでライフセーバーに近くの砂浜まで引き上げられた場合や、救護担当者やスタッフに担架や救護車輦で救護テントまで搬送された場合など)した場合、審判員又はスタッフが計測用アンクルバンドを回収します。

もし、回収漏れがありましたら、大会本部にリタイアであることを申告して必ず返却してください。

競技規則（ローカルルール）

（公社）日本トライアスロン連合(JTU)競技規則を基本とし、下記の競技規則(ローカルルール)により行います。よく読んでルールを理解して競技に参加してください。

◆大会競技規則とローカルルール

大会参加者は、（公社）日本トライアスロン連合(JTU)競技規則、ローカルルールにもとづき競技してください。

規則の違反に対しては罰則を適用します。罰則は、違反の程度により指導、タイムペナルティ又は失格のいずれかとします。

◆競技全般

口 当日朝の「**競技説明会**」には必ず出席して、ローカルルール、タイムペナルティの適用など重要事項を理解して参加してください。

口 大会実行委員会は、大会当日の気象条件等で安全に競技が出来ないと判断した場合、競技内容を変更、一部あるいは全部を中止することがあります。

口 大会日程で決められた時間(スケジュール)を厳守してください。

遅刻した場合競技に出場できなくなります。またやむを得ずスケジュールを変更する場合があります。その場合は大会本部にて告知しますのでお見逃しの無いようにお願いします。

口 第三者による特定の個人への援助(給水など)は禁止されています。競技中の選手への援助は大会主催者が用意したものだけです。

口 総合フィニッシュ時は、レースナンバークードが確認できるよう整え、サングラスを外すことを推奨します。

口 選手の保護者、あるいは付き添いの方の過度な応援や暴言は、他の競技者や観覧者の迷惑になります。節度を守った声援をお願いします。

口 スポーツマンシップを守り、マナーよく競技に参加して下さい。危険行為・他競技者への妨害・大会スタッフへの暴言等は、失格の対象になります。

口 競技途中でリタイアする場合は、すみやかにレースナンバークードと計測用アンクルバンドをはずし、必ずリタイアしたことを大会本部または審判員(オフィシャルウェアを着ています)まで届け出てください。

それ以外のコース誘導等の係員に届け出られても大会本部にはリタイアしたことが伝わりません。

口 レースナンバークードはランウェアの前胸部に四隅をしっかりと止めてください。

競技中にレースナンバークードがはがれている場合、その場で静止させ直させる場合があります。レースナンバークードの使用は認めますが、競技中つねにレースナンバークードが見えるように使用してください。

口 レースナンバークードの変造、折り込みはペナルティの対象となります。

口 ランのフィニッシュ、折返し、周回チェック手前では十分に減速し大会スタッフの指示に従い、割り込みや追い越しをしないようにしてください。

口 競技中に、競技を終了した選手や同伴・応援の方がコース上を移動または横断する場合は、競技中の選手に充分配慮し、大会スタッフの指示に従ってください。

口 完走者は記録証(完定証)を、後日、各自でWebから入手できます。

口 記録は大会会場に速報を掲示し、記録書の配布はしません。

公式記録表は 後日、大会のホームページに掲載します。

◆スイム競技

口 スイムのスタートはクラス毎のスタンディングスタートです。水辺の手前のスタートラインよりスターターの合図でスタートします。

口 一般A・一般リレー及び一般Bは、それぞれ約半数の選手がウェーブ①のスタート5分後にウェーブ②がスタートします。

口 スタート前の招集は、各クラスのスタート15分前までにスイム会場入り口で入水チェック(計測用アンクルバンドを受け取る)を受け、待機場所で行います。

口 スタート前のウォーミングアップは、各クラスのスタート5分前までに、審判員の指示に従って行ってください。

口 競技選手は、大会支給のスイムキャップを着用してください。

口 ウェットスーツの着用を推奨します。

口 一般(大人)で泳ぎに不安のある人は、大会本部に申し出て目印の「黄色の風船」の装着を受けてください。

口 ジュニア(小学生)で泳ぎに自信のない人は、浮き具・ビート板等の使用を許可します。

口 ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍測定器の使用は認めますが、その他のあらゆる用具の使用装着を禁止します。

口 周回数は競技クラスで異なります。ジュニア(中学生)と一般Bは2周回しますが、周回チェックは行いません。2周回日はいったん砂浜に上がって折り返します。

口 体調が万全でない時には勇気を持って参加を辞退しましょう。スイム競技をしないでラン競技をするスイムスキップを許可します。スイムスタート前に審判員に申告してください。又、一般Bの選手で、1周回を30分以上にかかった場合にスイムスキップを勧めることがあります。ただし、スイムスキップは「完走」になりません。

◆ラン競技

口 コース上は、左側通行です。

口 走る・歩く以外の方法では競技は出来ません。

口 ランウェアを必ず着用し上半身はだかで走らないでください。また、前開きおよび前ファスナー付きユニフォームはローカルルールにより着用を許可しますが、必ずファスナーを閉じて競技してください。

口 一度フィニッシュした選手は、再フィニッシュはしないでください。また他の選手の応援・伴走等で再度コースに入らないでください。

口 総合フィニッシュの直前では本人確認のためサングラスははずし、レースナンバークードの確認ができる姿勢でフィニッシュラインを越えてください。

口 エイドステーションは、0.9kmと1.9kmと2.7km付近に設置します。

◆トランジション

口 レースナンバークードを表示した用具入れの「**カゴ**」が設置されます。各自のレースナンバークードの「**カゴ**」の位置が各選手のスペースになります。これから競技に使用する全ての用具は、この各自のスペース内に置かなければなりません。ランシューズ(1足)は、「**カゴ**」の前の床の上に置くことができます。

競技が終了して使い終わった用具は、全てこの「**カゴ**」の中に収納しなければなりません。

スイム後のウェットスーツなどが「**カゴ**」の外に散らかっている場合は、戻って収納をして頂く場合があります。

口 指定のトランジションスペース内で着替えてください。なお、オープンスペースではみだりに裸にならないでください。

口 トランジションエリア内は、選手・大会スタッフ以外の立ち入りは禁止です。同伴・応援の方にもお知らせください。

口 競技を終了した選手のトランジションエリア内の立ち入りは、他の競技中の選手に充分配慮し、大会スタッフの指示に従ってください。

◆エイドステーション・その他

口 エイドステーションでのコップ、ゴミなどは指定の場所で捨ててください。後続競技者の安全と、地元への迷惑にならないようコース上、コース脇に捨てないようにお願いします。

◆リレー

口 チーム毎に指定された場所で次走者に計測用アンクルバンドを渡してリレーしてください。

2人の合計タイムがチーム成績となります。